Shonan Kamakura General Hospital

しょうなんメール

Vol. 11
2008年2月号

CONTENTS

◇「患者さま満足度調査」アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
◇ やけどは冷やす？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
◇ 華道部習作展に寄せて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
◇ ドクター紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

医療法人社団 愛心会 湘南鎌倉総合病院

理念

◇「生命を安心して預けられる病院」
◇「健康と生活を守る病院」

発行／湘南鎌倉総合病院 〒247-8533 神奈川県鎌倉市山崎1202-1 TEL:0467-46-1717（代） FAX:0467-45-0190

『患者さま満足度調査』アンケート

11月12日から12月3日にかけて
第2回徳洲会グループ統一アンケート調査『患者さま満足度調査』を行いました。

全患者さまのご意見を聞けるよう、1日1,500人分のファイルを準備し、正面玄関横にアンケート回収カウンター、即時に集計し現状把握できるよう入力環境の設置をおこない、毎日10名の体制で病院全体のイベントとして実施期間中多くの患者さまのご協力によりアンケートを回収することができました。特に入院の患者さまについては前回より1週間多い期間を設け約5倍の協力をいただき、多数の声を聞かせていただきました。

昨年より塩野院長の下「患者さま満足度向上委員会」を設立し、患者さまの期待に応えるよう改善を重ねてまいりました結果を反映しての調査という事もあり、対応・設備・環境に於いては、前回よりも満足度が向上される結果となりました。ただ、この結果に甘んじる事なく、患者さまの実態・病院への評価・満足度の把握を更に続け、湘南鎌倉総合病院として、今回のアンケートで頂いた貴重なご意見を参考に、多くの患者さまの期待に添った良い医療、良い環境、良い職員作りを目指してこれからも日々邁進していかなければならないと、改めて強く決意いたしました。

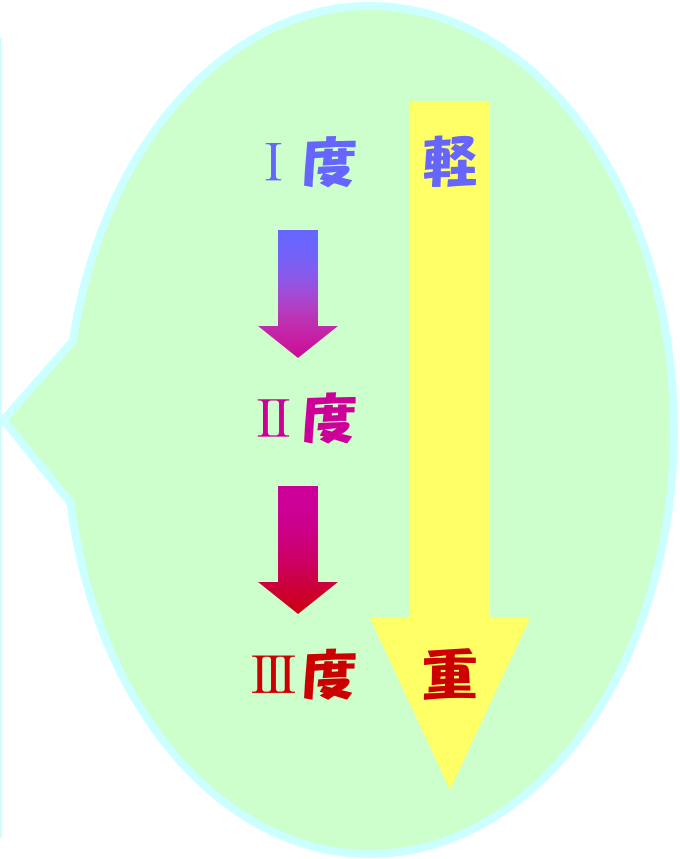
医事課
安達　慎司

やけどは冷やす？

コーヒーを入れようとして、熱湯をこぼした経験はありませんか。「やけどになっちゃった」経験です。まず初めに何をしましたか。何をしなければいけないと思いますか？

やけどの応急処置としてまず頭に浮かぶのは「冷やすこと」だと思います。でも、なぜ冷やすのか、どのように冷やすのか御存知でしょうか？

やけどの重症度は、病院に行かなくてもよい軽い程度から、手術が必要で命に関わるような重症までいろいろです。重症度は、年齢、やけどの場所、広さ、深さによって決まります。このうち、やけどの深さは、ひりひりと赤くなっている程度をⅠ度、水ぶくれ（水疱）になるものをⅡ度、痛みも感覚もなくなってしまったものをⅢ度と称します。Ⅲ度の場合は、痛んだ皮膚を削り取り、健常な皮膚を別の場所から薄く剥いでかぶせる手術（植皮術）が必要になるのが通常です。



やけどは冷やす？

やけどをした後に「冷やすこと」は、傷んだ組織内で乳酸、
ヒスタミン、トロンボキサンといった物質の産生や遊離を抑え、
やけどが深くなるのを防ぐと言われています。
これが「やけどは病院に来る前にまず冷やしましょう」
と言われる理由です。

この目的を果たすためには、やけどの部位を5分から10分ほど冷やすだけで十分です。水道水をゆっくり流して、一度冷えれば良いのです。氷で冷やし続けると、凍傷（しもやけ）になる恐れがありますので望ましくありません。冷やすことには痛みを麻痺させる効果もありますが、それは本来の目的ではありません。冷やすのをやめると痛みがつらくなる場合は、軽いやけどであっても病院で軟膏処置を受けた方が良いでしょう。

水ぶくれが出来ている場合（Ⅱ度熱傷）や、痛みも感覚もない場合（Ⅲ度熱傷）は、できるだけ早く病院で診療を受ける必要があります。範囲が小さければ自宅で冷やしてから病院に来ていただいた方が良いのですが、範囲が大きい場合は、すぐに救急車を呼び、処置は救急隊員に任せた方が良いでしょう。範囲が広いか狭いかの判断は、一概に言えませんが、手掌ひとつ分ぐらいなら小さいやけどと考えていただいて結構です。

最後に。小さな子供さんのやけどは大人の責任です。子供さんの近くで熱湯をコップに注ぐようなことはやめましょう。また御高齢の方（特に認知症のある場合）は、仏壇のろうそくの火が服に燃え移るようなことがよくあります。

「やけどの治療は予防から」です。

湘南鎌倉総合病院　救急総合診療科　太田　凡

華道部習作展に寄せて

平成５年に当院華道部は設立されました。小原流の石田香月先生を迎えて先生の指導の下「四季折々の花とのふれあいの中で自然を大切にする心と繊細な美しさを捉える目を養って感性を磨いてほしい」という信条をうけて、医師、クラーク、看護師、検査、リハビリその他多職種、多部署の職員が花に生かされ生かし皆さん大変忙しい中少しの時間を使って稽古に励んでいます。そこで昨年末１２月１１日と１２日の２日間習作展を行ないました。前日生けこみの日は会場が３カ所に分散した為、設定にも時間がかかり２３時過ぎまでかかってしまい、何とか翌日の展示に間に合わせた状態です。

おかげさまで、見てくださった多くの患者様、職員からも大変癒されました・・・・とお褒めの言葉をいただいてほっと致しました。これからも皆さんのご要望にこたえる為にも、３回目の習作展が開催できますよう努力してまいりたいと思います。

華道部部長　岡内　ツエ子

ドクター紹介

循環器科
齋藤　滋　副院長

循環器科　齋藤　滋です。僕はそもそも東京深川生まれの江戸っ子です。でも大学受験一浪の時には、”安田講堂事件”のため東大入試が突然キャンセル。その余波をくらって一人母校大阪大学を受験し、幸い入試に受かり大阪に行くことになりました。「これから医学部6年間この大阪に住むのだ」という思いで大阪の地に入った途端、ものすごいカルチャー・ショックを受けました。当時、阪大は学園紛争最中で何と講義が始まったのはその翌年の1月からでした。「大阪に住みたくない」という思いと、この暇のためデモや遊びに明け暮れました。この時期は、その後僕が色々な文化を受け入れる素地を作ったと思います。結局、関西に19年間住み、38歳の時にまだ開院前1ヶ月であった当院に最初の病院職員として赴任しました。

心カテ電気生理学検査の自動処理を行うべく、「マイコン」が丁度世に出た頃の1977年にコンピューターの世界に独学で入り始めました。一人でたくさん勉強し、数年後には情報処理技術者第二種資格と、第一種というプロ免を取得しました。今でもプログラミングが一番の趣味です。相当詳しいですよっ！それと、2000年頃からは自転車にも乗っています。自動車の運転は止めました。日本国内色々な病院を訪れる時には自転車を担いで持参し、現地のお医者さん達とツーリングを楽しみます。なかなか時間が取れませんが・・・。

今、診療の傍ら特定非営利活動法人ティー・アール・アイ国際ネットワーク理事長としても活動しています。僕のライフワークの一つである経橈骨動脈冠動脈インターベンションを通して、世界中の病院を治療のために訪れ、これを通じて世界平和に貢献しようという活動です。そういう自分を確立するためにも、鎌倉での診療を通じて得られた医学的真理を、欧米医学誌に英文で数多く投稿しています。

「鎌倉の齋藤　滋」でなく、「齋藤　滋の鎌倉」と言われたいですね。